

(貸 金)

### 請求の趣旨【□前記記載のとおり】

- 1 被告【□ら】は、原告 に対し、【□連帯して】次の金額を支払え。
- (1) 金 51,505 円
- (2) (1)の金額【□のうち金 \_\_\_\_\_ 円】に対する  令和 元年 8 月 16 日  
□本訴状送達の日翌日 から  支払済み □ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 まで年  
10 パーセントの割合による金員
- (3) (1)の金額【□のうち金 \_\_\_\_\_ 円】に対する \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日から  
支払済みまで年 \_\_\_\_\_ パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。
- との判決  及び仮執行宣言 を求める。

### 請求の原因（紛争の要点）

- 1 原告 \_\_\_\_\_ は、被告 \_\_\_\_\_ に対し、以下の条件で金銭を貸し渡した。
- (1) 貸付日  \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  別紙貸付日欄記載のとおり
- (2) 貸付金額  \_\_\_\_\_ 円  別紙貸付日の取引金額欄記載のとおり
- (3) 利息の約定  無  年 5 パーセント  (□ただし、利息制限法の制限  
利率により請求する)
- (4) 損害金の約定  無  年 10 パーセント  (□ただし、利息制限法の制  
限利率により請求する)
- (5) 弁済期  令和 元年 7 月 31 日【□から \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日まで毎月 \_\_\_\_\_ 日限り \_\_\_\_\_ 円ずつ】  
 無 (催告日…□ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 □本訴状の送達による)  
の定め
- 【□(6)特約条項 □期限の利益喪失の定め (支払を \_\_\_\_\_ 怠ったとき)】
- 【□(7)連帯保証人 被告 \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日付け保証を証する書面あり)】
- 2 被告【□ら】が原告 \_\_\_\_\_ に対し返済した金額は、 ない  50,000 円である。  
【□なお、 最終支払日 □期限の利益喪失日】は、 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日である。】
- 3 よって、原告 \_\_\_\_\_ は、被告【□ら】に対し、【□連帯して】 51,505 円  
( 内訳：元金 51,505 円、利息 0 円、確定損害金 0 円)  
 及び残元金に対する【□利息、】遅延損害金 の支払を求める。